

校務DX事例創出モデル事業企画運營業務委託に係る企画提案評価基準

項目	評価内容	配点
1. 本業務に対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の教育現場の状況、本業務の目的を理解している。</li> <li>・提案内容が県教委の目指す校務DXの内容に沿っている。</li> </ul>	20
2. 業務実施体制、実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の目的を達するために必要な事項を確実に実施するとともに、発注者の負担軽減等を考慮した実施体制が提案されている。</li> <li>・国、都道府県及び政令指定市における同種同様業務に携わった者並びに経験を踏まえた実施体制（進め方）が提案されている。</li> <li>・本事業でどのような成果を目指すべきか考え方が提案されている。</li> </ul>	30
3. 調査実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル校に対する説明会・調査が、効率的・効果的な方法で提案されている。また、同種同様業務実績に基づく進め方（考え方）や支援方法が提案されている。</li> <li>・個人情報や機密情報を含むデータの取り扱いに対する実施方針が提案されている。</li> </ul>	60
4. 調査結果の分析及びプラン検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査に基づいて抽出した問題点や課題の整理・分類・分析の方法や、その考え方が同種同様業務実績に基づいて具体的に提案されている。</li> <li>・モデル校の教員を交えたワークショップ等について、教員のDXに対する意識改革を促し、今後、教員が自発的にICT技術を活用した課題解決（改善）に取り組めるようになるための、効果的な提案がされている。</li> </ul>	70
5. ICT利活用による業務改善の支援・解決（改善）策展開の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT利活用について、Microsoft365やローコードで開発したツールの利用など、効率的・効果的な方法で提案されている。</li> <li>・上記を実施するにあたって、本県教職員の知識や技術の向上に寄与する方法が提案されている。</li> <li>・モデル校以外の県立学校への解決（改善）策の展開について、本県の環境に適した方法が提案されている。</li> </ul>	60
6. その他（独自提案など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革や校務DXの推進など、本県の取り組みの参考になる（自治体にとって有益・効果的と考えられる）手法やアプローチ方法などが提案されている。</li> <li>・事業全体の実施において、対応する教職員に極力負担をかけない手法が提案されている（単にヒアリングの回数を減らすだけといったものは評価しない）。</li> </ul>	30
7. 事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考見積額、予定価格とも消費税を除いた金額を用い、以下の計算式に当てはめて算出した数字をもって評価する。  <math display="block">(\text{予定価格} - \text{参考見積額}) / \text{予定価格} \times 30</math>                     ※小数点以下切捨                 </li> </ul>	30
	計	300